

## 第2次 総社市 総合計画 実施状況

平成28年10月

総社市総合政策部政策調整課

【基本目標 1】

だれもが住みたくなる総社

満足度  
(5段階評価)

3.4

重要度  
(5段階評価)

4.3

[転入超過数(5年間平均)] 当初値:155人/年 ⇒ H28現況値:281人(H28.4.1~9.30) ⇒ H32目標値:年平均200人以上

【重点推進施策】

子育て

満足度

3.5

重要度

4.5

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)				事業名	H27決算額	H28予算額	現状	課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H28現況値	H32目標値					
○待機児童を3年以内に‘ゼロ’に	3.2	4.3	転入者数	2,173人 (平成25年)	2,461人 (平成27年) 2,050人 (28.1.1~9.30)	2,400人	ひとり親家庭への支援 ファミリーサポートセンター事業利用支援	7,760	8,160	【27実績】(会員数)利用会員787人 提供会員72人 賛助会員205人 (コーディネート件数)7351件	事務局と委託先の情報共有が必要
○妊娠期から子育て期をワンストップで支援	3.2	4.2	出生数	564人 (平成26年度)	524人 (平成27年度) 303人 (28.4.1~9.30)	646人	ひとり親家庭への支援 病児保育利用支援	8,715	10,271	病院に付設された専用スペース(保育室含めて3部屋)で看護師・保育士を配置して保育にあたっている。【27実績】利用者数525人	利用者減少傾向。三宅医院としては利用促進を希望。
○支援が必要な子どもを応援	3.1	4.2	待機児童数	50人 (H27.10.1現在)	22人 (H28.10.1現在)	0人 (H30年まで)	子育て王国のまちづくり事業 「子育て王国そうじゃ」実行委員会	1,500	1,500	総社市の地域性を生かし、市民・企業・市が協働して子育て王国を目指している。H27年度は農業体験、チュッピータウンへ行こう等の事業を行っている。(実行委員)27人(事務局)保育サポートあいあい	子育て王国の更なる進化を図る。チュッピーの商品化等。
			子育てしやすいと感じている人の割合(市民アンケート数値)	-	48.9%(満足・どちらかといえば満足) 9.4%(不満・どちらかといえば不満)	80%	利用者支援事業(母子保健型)によるワンストップ拠点整備	-	5,733	H28.8.22西庁舎1階に子育て王国を建国。子育てに関するワンストップ窓口機能と相談室に子どもの遊び場や授乳室を併設した「子育てほっとルーム」を整備。	内部の連携を強化し、さらに子育て王国の充実を図る。
			子宮頸がん検診(HPV検査)の受診者数	-	207人 (平成27年度)	350人	小児医療費	248,382	249,255	H27年度、2億5000万未達達成。残額は子育て基金へ積み立て。	医療機関への適正受診、基本的な生活習慣を身につけることで、病気の流行を予防するよう継続して周知する必要がある。
							児童発達支援事業	1,199	1,340	【27実績】はばたき園でのプレスクールクラス(30人登録)、旭川荘での総合検診(約50人)、4歳児発達支援事業(160人程度)	市長部局・教育委員会・幼・保・小・中・社協等と連携し、切れ目のない支援にしていく。
							幼稚園の預かり保育の拡大	9,747	31,100	8園実施	利用者数を見ながら今後の実施を検討
							事業所内保育事業、小規模保育事業の開始	-	205,914	事業所内保育事業2箇所 小規模保育事業2箇所	今後の状況を踏まえ検討
							保育所新設助成	-	143,505	平成29年度開所に向けて施工中(定員90名)	待機児童の解消につながる
							老朽化している施設(保育所)の改修助成	39,533 (繰越)	169,354	平成29年度定員増に向けて施工中(定員90名→120名に増員)	順次実施
							放課後児童クラブの充実	78,624	89,614	現在14クラブ開所	小1から小3までの待機児童の解消

【重点推進施策】 社会保障(高齢者・障がい者など) 満足度 3.2 重要度 4.5

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)				事業名	H27決算額	H28予算額	現状	課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H28現況値	H32目標値					
○独居高齢者の孤立を防ぐ	3.0	4.4	雪舟くん1日平均乗車数	229人 (平成26年度平均)	211人 (平成27年度平均)	250人	郵送型健診の実施	—	2,584	【H27実績】KDDI検証事業のため負担なし。20～39歳までの市民4000人対象、うち628人受診。	若年層への健康意識の啓発、健康診断受診率の向上、生活習慣病の予防に繋いでいく。
○高齢者のケア・見守りの強化	3.0	4.3	認知症サポーターの数	2,538人 (H27.3.31)	3,524人 (H28.3.31)	6,000人	権利擁護事業	7,208	7,491	【H27実績】相談248件 支援検討14件。センター設置から3年が経過し、相談支援件数も増加。各専門委員会での活動にも成果が見られ、創設期としての機能は果たしている。	各専門委員会を実施してきた調査結果や作成したマニュアルなどをもとに、今まで以上に相談支援の現場が強化され、生産性が向上していくことに努める必要がある。
○雪舟くんの利便性強化	3.2	4.1	いきいき百歳体操の実参加者数	1,925人 (H27.3.31)	133箇所 1,990人 (H28.3.31)	2,800人	地域医療介護総合確保基金事業	—	319,206	介護施設等整備を行う法人に対し、整備等に要する費用の一部を補助金として助成。	整備法人を公募により決定する必要がある。決定しない場合には補助金助成年度がずれ込む可能性がある。
○切れ目のない介護と医療体制をつくる	3.0	4.4					生活支援体制整備事業	—	6,798	介護予防・日常生活支援総合事業の基盤づくりとして、生活支援体制整備事業を市社協へ委託し、生活支援コーディネーターを1名配置し、5つの圏域地域包括ケア会議を第2層協議体に位置付けた。住民主体のサービスの担い手となる生活支援サポーターの養成講座を平成27・28年度の2回開催。現在、生活支援サポーターは127人。	民間企業、NPO法人、地区組織・団体等が参画する生活支援サービス検討会(第1層協議体)を開催し、新たな生活支援サービスの開発、地域資源の発掘等を推進していく。 養成した生活支援サポーターを有償ボランティアとして、また、高齢者の生きがいづくりに寄与できるよう、地域の中で機能させていく仕組みが必要。
○障がい者の支援の充実	3.1	4.2					住宅リフォーム助成制度	—	10,000	住宅手すり設置、段差解消助成事業(要介護認定または要支援認定を受けていない65歳以上の方等が対象) 平成28年4～9月末の利用状況:11件	制度の周知
○元気でいきいき！健康寿命を延ばす	3.2	4.1					地域集会所建設費補助金	1,300	3,000	【H27実績】増築1件、修繕2件、冷暖房設備1件	施設の老朽化はもとより、高齢者等がより使いやすい集会所となるよう、整備や制度の見直し等が必要である。
							要援護者等見守り台帳整備	—	10,000	プロポーザル方式により総社市の見守り支援の台帳整備に関するシステム導入を行っている。 関係部署と連携し、データの一元化を図っている。	市民の情報として、どの範囲まで保有し、権限付与していくか。
							地域医療体制整備事業	—	100,000	市内医療機関に補助金を交付決定。H28年度中に工事完了予定。	二次救急医療等の拠点となる医療施設の整備
							いきいき百歳体操啓発・推進	2,673	4,754	高齢者の介護予防・自立支援のためのいきいき百歳体操は、平成28年3月末時点で、133箇所で1,990人が取り組んでいる。	介護予防・日常生活支援総合事業が開始される平成29年度には、通所系のサービスの中で、住民主体の通いの場、居場所としての機能を果たすこととなる。体操だけでなく、食の提供等の充実が求められる。
							新生活交通「雪舟くん」 雪舟くんの利便性向上	62,988	115,066	【H27実績】一日平均乗車数211人 H28.9末現在 1日平均乗車数216人	目標達成のために応援車両数を増やすと、多額の費用が必要になる。H27応援車両費用は385万円。

【重点推進施策】

住宅・生活基盤

満足度

3.5

重要度

4.4

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)				事業名	H27決算額	H28予算額	現状	課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H28現況値	H32目標値					
○吉備線をもっと便利に	2.9	3.9	宅地面積	1,475ha (H27.4.1)	(H29都市計画 基礎調査の後)	1505ha	住宅耐震改修事業	697	1,640	【H27年度実績】木造住宅耐震診断:7件 木造住宅補強計画:2件 木造住宅耐震 改修:1件	事業費の確保
○市街化区域の再活性化	2.9	4.0	街路灯設置数	-	14基 (平成27年度)	80基	吉備線LRT化検討	211	1,387	岡山市, JR西日本との協議, 検討中。三 者による費用負担と役割分担について H29年度内に合意できるよう調整中。	事業費や役割分担, 費用負担などにつ いて調整
○夜間ピカピカ大作戦	2.9	4.1					総社駅南地区土地区画整理事業 事業施行面積 52.2ha	547,384	512,000	事業計画の変更, 換地計画の策定後, H 30換地予定。その後5年間で清算事務。	換地にかかる登記, 地権者との交渉等 業務の増大が見込まれる。
							夜間ピカピカ大作戦	12,852	10,000	市役所前(中央井手)からスポーツセン ター(中央文化筋)まで統一した街路灯の 設置。H28実施設計。	事業費の確保
							防犯灯の設置 清音駅東口 L=1,080m, 16基	62	4,000	入札により216万円で契約済, 10月末ま でに設置完了の予定。入札残で地域・中 学校から要望のあった箇所へ設置してい る。	H29年度からは, 地域要望等に対処す るため, 経常的な予算を確保しておく必 要あり。
							準用河川国府川改修事業	25287	41,000	延長L=947m 施工済延長:L=530m	環境保全, 予算措置の観点から長期事 業になっている。
							準用河川井手川改修事業	23205	10,000	延長L=820m 施工済延長:L=530m	単市事業であり予算の範囲内で年次的 に工事等を行っている。
							東部水源施設統廃合事業	230,596	314,500	東部は小寺と三輪の水源を利用予定。	東部は小寺と三輪の水源を利用予定。
							石綿セメント管更新事業	13,824	42,500	今年度末で未更新部分が1,200m残る予 定。	
							浸水対策事業	34,379	71,600	施設の長寿命化を実施。中原雨水幹線を 用地買収して雨水渠を整備予定。	事業費が,かなり見込まれる上に,住宅 化が進み,工法等事業計画の見直しが必要。
							水質保全下水道事業	46,396	233,139	総社下水処理場や各中継ポンプ場の経 年劣化による老朽化に対応するため,順 次改築更新を進めている。	今後も,計画的に施設更新は行ってい くが,施設の老朽化に伴って,事業費が, かなり見込まれる。
							未普及解消下水道事業	48,737	114,534	さくら団地周辺を整備予定。その後は,三 須~桃山団地の整備を検討。	現事業計画区域の整備完了までに約 12~15年程度掛かる予定。
							公共下水道事業(単独)汚水管渠/起債	165,416	130,700	井尻野, 真壁, 三輪, 井手で工事実施	現事業計画区域の整備完了までに約12 ~15年程度掛かる予定。
							浄化槽設置整備事業	30,866	42,580	年に100基ほど設置している	公共下水道, 農業集落排水の計画区域 以外の地域については合併処理浄化槽 の設置を推進し, 今後とも水質及び生 活環境の保全を図っていく。
							供用開始地区集落排水整備事業	4,417	10,500	公共樹設置取付工事 10基 新規公共樹設置に伴う污水管理設工事 (長良・新本新庄) 供用開始区域内における管路設備修繕 工事	今後とも区域内の新規設置予定を的確 に把握しながら執行していく。
							冠水標示板設置	—	24,000	地下道3箇所に冠水表示板を設置し, 同 時に老朽化し耐用年数を経過した発電機 の取替を行っている。	近年多発するゲリラ豪雨への対応

事業名	H27決算額	H28予算額	現状	課題
橋りょうの点検及び長寿命化計画策定	29,355	40,000	市内827市道橋の定期的な点検を行い劣化箇所の修繕を順次行う。	事業費の確保
横断歩道橋点検及び修繕計画策定	—	20,000	市内3横断歩道橋の定期的な点検を行い劣化箇所の修繕を順次行う。	事業費の確保
シェッド(洞門)点検	—	—	交付金による予算措置待ち	—
舗装の長寿命化計画策定	2149	10,000	道路舗装の健全度、維持管理の優先度を考慮し、舗装維持管理計画を作成している。	事業費の確保
舗装修繕	92416	40,000	路面の詳細調査に基づき適切な舗装修繕を行っている。	事業費の確保
道路付属物等修繕計画(道路照明点検)	—	10,000	交付金による予算措置待ち	—
道路付属物等修繕(道路照明修繕)	—	—	交付金による予算措置待ち	—
道路防災施設整備計画(のり面点検)	—	20,000	交付金による予算措置待ち	—
落石対策	—	—	交付金による予算措置待ち	—
真壁支線3156号道改良事業	50,730	12,600	H28測量設計委託中	計画的な事業実施のための事業費の確保。

**【重点推進施策】 移住・定住促進 満足度 3.4 重要度 4.0**

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)				事業名	H27決算額	H28予算額	現状	課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H28現況値	H32目標値					
○結婚を応援	3.0	3.8	カップリングパーティ参加者のうちカップル成立数(累計)	11組 (平成26年度)	17組 (平成27年度)	70組	婚活事業	395	610	【H27実績】H27.12.6 カップル成立12組(男32人, 女37人) H28.3.20 カップル成立5組(男22人, 女17人) 平成28年度第1回婚活パーティー 10/29に開催予定(BBQパーティー)	パーティ後のカップルで参加できるイベントの紹介や後追い調査, サポート等をさらに充実させ、結婚につながるよう取り組んでいきたい。また、総社市に定住してもらえるような施策も必要である。
○移住・定住を促進	3.1	3.8	結婚活動事業による成婚数(累計)	0件 (平成26年度)	5件 (~H28.9.30)	10件	定住促進事業	5,418	9,582	【H27実績】8世帯23人が昭和地区へ定住	H28年度から池田小, 新本小, 山田幼の区域に拡大したため、対象地区でのコーディネーターが必須。
			移住相談等の施策により移住した件数(定住祝い金対象)(累計)	2件 (平成26年度)	12件 (~H28.9.30)	75件					

【重点推進施策】

防災・消防

満足度

3.3

重要度

4.2

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)			事業名	H27決算額	H28予算額	現状	課題	
	満足度	重要度	項目	当初値	H28現況値						H32目標値
○東日本大震災から学び、災害に強いまちにする	3.1	4.3	自主防災組織率の向上	50.1% (H27.4.1)	57.2% (H28.4.1)	70%	大規模災害被災地支援	425	10,000	国内で大規模な災害が発生した際、即座に支援を行っている。	どの程度の災害まで支援を行うか判断に苦慮している。
○大震災時の支援拠点となる	3.1	4.2	防災訓練の実施	年2回 (平成26年度)	年15回 (平成27年度(地区訓練含む))	年10回	小規模林道整備事業(単県):林道水内細瀬線	17,172	7,010	細瀬地区の避難道路の機能をもたした林道整備をH19年度から実施	H29年度に舗装整備を実施し事業完了予定。
							小規模林道整備事業(単県):林道黒田浅原峠線 開設工事	-	-	-	-
							小型動力ポンプ積載車	2,139	-	石油貯蔵施設立地対策等交付金を活用し、車両更新を行っている。	購入後20年以上経過している車両が多数あり、整備計画を検討する必要がある。
							小型動力ポンプ	1,226	5,690	石油貯蔵施設立地対策等交付金を活用し、今年度はポンプ4台を導入予定。	購入後20年以上経過しているポンプが多数あり、整備計画を検討する必要がある。
							消防機庫新築工事	20,061	3,500	池田4部消防機庫、今年度末完成予定。	老朽化した消防機庫が多数あり、更新計画等検討する必要がある。
							消防車両等整備事業	39,809	0	老朽度及び修理等の車歴が著しい車両が多数ある。	消防車両の更新は、安全性、老朽度並びに稼働状況等の車歴を加味して総合的に考慮し、計画を策定しているが、更新が遅れている。
							防火水槽整備事業	5,574	6,500	辺地対策事業として、延原に防火水槽新設中。12月末完成予定。	既設防火水槽で老朽化による漏水対策及び有蓋化を進める必要がある。
							水道消火栓整備事業	422	4,000	水利基準に基づく新規設置及び老朽化した消火栓の改修を行う。	老朽化による改修を進める必要がある。
							消防機器整備事業	-	1,400	今年度、40本のホースを購入した。	老朽化した消防ホースが多数あり、計画的な更新が必要。

**【基本目標 2】 だれもが働きたくなる総社** 満足度 (5段階評価) **3.2** 重要度 (5段階評価) **4.2**

[総所得金額] 当初値:805億円/年(H26年) ⇒ H28現況値:821億円/年(H27年) ⇒ H32目標値:840億円/年

**【重点推進施策】 雇用** 満足度 **3.2** 重要度 **4.3**

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)				事業名	H27決算額	H28予算額	現状	課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H28現況値	H32目標値					
○労働者を増やす	3.1	4.2	市内事業所の従業者数	23,392人 (平成24年)	23,103人 (平成26年)	25,000人	障がい者千人雇用の深化	17,096	20,418	H28.9.1現在 千人雇用 951人	精神障がい者雇用のフォローが必要。利用者が頭打ち。A、B型事業所の増加、及び工賃向上、雇用ニーズのマッチング。
○様々な働き方を応援する	3.0	4.1	総社市・高梁市連携事業 合同就職面接会参加者	-	0人 (平成27年度)	250人	75歳総活躍社会の実現	-	500	総社市生涯現役促進協議会を立ち上げ、平成28年度生涯現役促進地域連携事業補助について国の採択を受けた。高齢者就労に関するワンストップ相談窓口を「そうじゃ60歳からの人生設計所」として市社協に10月に開設。高齢者雇用と産業・観光のコラボにより高齢者が活躍できる機会を確保する体制づくりが進んでいる。	市内大手企業の主要工場は、本市の施策を理解しながらも高齢者雇用に踏み出せない企業も多くある。また、シルバー人材センターの認知度が50%と低く、業務内容もあまり理解されていないことから、企業側にも住民側にも働きかけが必要である。
○障がい者の自立を応援	3.2	4.1					高梁市連携事業負担金(雇用促進)	-	200	総社雇用開発協会、高梁市と連携して、雇用確保に向けた大学訪問を実施した。	各地区企業間の調整が難しく、合同就職面接会は困難な状況にある。
○発達障がい者の自立を支援	3.1	4.1									
○「ひきこもり」の状況にある人の就労支援	3.0	3.9									
○若者の地元就職を推進	3.0	4.3									

【重点推進施策】

農林業

満足度

3.1

重要度

4.0

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数 (KPI)			事業名	H27決算額	H28予算額	現状	課題			
	満足度	重要度	項目	当初値	H28現況値						H32目標値		
○地食べ事業を核とした儲かる農業の推進	3.2	4.2	地食べ事業による市内産米の消費量拡大	—	13,662俵 (平成27年産米)	累計5000俵			ため池単市整備事業(単市)	ため池への転落等により死亡事故を防止するため、安全施設の設置を実施	市内にため池が多くあるため、順次設置していく必要がある。		
○優良農地の確保	3.1	4.0	営農組合の新たな組織化・法人化	—	H27 1件 (軽部営農) H28 1件予定 (上楨営農)	3組織			小規模ため池補強事業(単県)	ため池の維持管理及び災害防止のため、市内ため池(約360箇所)の堤の補強工事を実施	市内に老朽化したため池が多いため早急な事業実施が必要。		
			学校給食における総社産野菜の利用率	36.9% (平成26年度)	38.8% (H27度実績) 35.0% (H28.9末)	40%			小規模ため池周辺整備事業(単市)浚渫工事	災害防止及び用水確保のため、市内ため池(約360箇所)の浚渫工事を実施	雨水によるため池への土砂流入のため、機能維持のためには定期的な浚渫工事が必要		
			荒廃農地の面積	63.8ha (平成26年度)	47.8ha ※国による荒廃農地基準の明確化	維持			担い手育成支援事業 魅力ある水田確立総合対策事業	自立経営を開始した新規就農者への支援や集落営農等が購入する機械・資材への支援	産地の体力を強化するためには後継者育成が必須。継続的な後継者確保を実施する必要がある。		
									農産物育成対策事業	865	8,699	桃やぶどうなどの産地が購入する機械・資材に対し園芸振興のため支援している。	桃・ぶどうの産地は後継者等の確保に努めているが、他の産地については発展的な活動がされていない。
									中山間地域等直接支払交付金事業 荒廃防止	8,814	8,815	平地との生産費格差を是正するため、傾斜地で営農活動する地区に対して支援。8地区で実施。	支援する地区は高齢化の進展が市街地よりも進んでいることから、営農活動の持続が困難となってきている。
									多面的機能支払交付金事業 荒廃防止 山田, 原	0	1,800	昨年度から山田地域において協議会を立上げH28年度から制度の導入を図った	山田地域全体での取り組みを目指しているため、地域内でのシステム確立する必要がある
									地産地消推進事業 そうじゃ地食べ公社地産地消推進事業	4,973	1,330	学校給食米で使用する特別栽培米を、市が生産者から購入するにあたり、1俵あたり1,000円の補助金を交付	今後、米だけではなく他の品目での生産向上、販路拡大に取り組んでいく。
									有害鳥獣対策事業	3,816	4,112	イノシシ・シカ等の有害獣を捕獲した者に対して報奨金を支給することにより、駆除の促進を図っている。	年々イノシシ等の有害獣の増加により農産物や農業用施設への被害が増大しているが、狩猟者登録する人も年々減少傾向。また駆除を依頼している猟友会も高齢化が進んでいることから、活動が鈍くなってきている。
									松くい虫対策事業	11,944	12,029	文化財や観光名所等にある松くい虫の被害を受けている樹木の伐倒、樹幹注入、土壌改良を実施	健全な松林の保全のためには継続的な事業実施が必要
									単市場排水機等修理事業	7,706	10,589	揚排水機、ため池等の修繕を実施	老朽化による修繕が年々増加している。
									小規模土地改良事業 かんがい排水事業、農道舗装・改良事業	18,966	20,010	地元からの要望による農道・排水路の改良事業	事業実施には地元負担金が必要なため、負担金が出せる地域か否かで地域間の格差が発生している。
									農道等改良事業(単市) 農道・水路・ため池	8,582	8,400	地元からの要望による農道等の改良事業	事業実施には地元負担金が必要なため、負担金が出せる地域か否かで地域間の格差が発生している。
									農地利用集積推進事業	5,460	5,654	経営規模の拡大や集約化及び荒廃農地発生防止のため、農地流動化のマッチング事業を実施。農業委員や流動化推進員へ契約成立に応じて報奨金を支給。	年々耕作者の高齢化の進展により、農地の担い手不足が経常的な問題となっている。



【重点推進施策】

商工業・物流

満足度

3.3

重要度

4.2

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数 (KPI)			事業名	H27決算額	H28予算額	現状	課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H28現況値					
○市内企業・事業所との連携	3.1	3.9	従業員50名以上の企業誘致	—	0社 (H29年度当初JP開業予定)	5年以内に3社	42,040	42,040	【H27実績】株式会社モンテール(H31年度まで), 株式会社指月電機製作所(H28年度まで)	企業地の確保
○拠点整備を支援する	3.1	4.0	市内事業所数	2,052事業所 (平成24年)	2,075事業所 (平成26年)	5年後2100事業所以上	—	—	H28年度 11月補正予定	—
							—	3,000	現在2件の申請が出されており, 補助金の問い合わせも数件ある。	商工会議所など認定支援機関と連携して, 創業支援に取り組む。

**【基本目標 3】 だれもが学びたくなる総社** **満足度 3.3** **重要度 4.3**  
(5段階評価) (5段階評価)  
 [年少人口(0~14歳)数] 当初値(H27):約9,823人 ⇒ H28現況値:9,725人(H28.9末) ⇒ H32目標値:10,000人超

**【重点推進施策】 学校・幼児教育** **満足度 3.4** **重要度 4.5**

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)				事業名	H27決算額	H28予算額	現状	課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H28現況値	H32目標値					
○「心」を重視した教育	3.1	4.3	地域の特色やニーズにあった特区の新設	1区 (平成27年度)	3区	3区	学校一括交付金事業	43,300	43,300	H28年度分についても交付済み	今後も引き続き特色ある教育につながるよう検証していく
○だれもが行きたくなる学校づくり	3.1	4.3	不登校出現率(不登校の子ども割合)小学校 不登校出現率(不登校の子ども割合)中学校	小学校0.43% (平成26年度) 中学校1.97% (平成26年度)	小学校0.33% (平成27年度) 中学校1.61% (平成27年度)	小学校0.3%以下 中学校1.7%以下	昭和地区等英語教育推進事業	28,451	50,970	【H28.5.1現在】池田幼稚園1名 池田小学校4名 新本幼稚園1名 維新幼稚園9名 山田幼稚園16名 昭和小学校36名 維新小学校5名 昭和中学校6名 が学区外から転入園・学	教育特区に関する情報発信
○特別な支援が必要な子どもたちを支援	3.1	4.3	昭和地区等英語教育特区への地区外から通園通学する児童生徒数(幼小中)	47人	81人 (H28.8.31)	70人	井尻野幼稚園耐震補強設計業務	—	4,832	未設計	井尻野幼稚園と総社保育所との認定こども園化の検討によっては、耐震補強が不要になる可能性あり
○特色ある学校づくり	3.1	4.0					維新幼稚園耐震補強設計業務	—	4,840	H29.3.31完了予定	平成29年度耐震補強工事予定
○世界へはばたく特区教育を	3.2	3.9					総社小学校改築事業	23,069	104,534	今年度実施事業の進捗 地質調査業務、発掘調査業務 完了 実施設計業務、中庭整地工事 H29.3.31完了予定	校舎完成予定 H31.1月 グランド整備等完成予定 H31.10月末
							給食調理場新設事業	402	56,200	基本設計・実施設計・造成設計を一括で業務委託準備中 用地費(9月補正)議決後、地権者と売買契約締結予定	新給食調理場稼働:H31.9月
							修繕計画による施設修繕 各年30,000万円	29,845	30,000	学校施設の老朽化が激しく、水周り関係の修繕や躯体に関わる修繕が多い。予算も限られ修繕が追いついていない。	漏水や雨漏り等の突発的な修繕が多く、計画通りに進めるのが難しい。
							大規模修繕事業(小学校、中学校、幼稚園)	989	5,935	学校施設の老朽化が進んでおり修繕箇所が多く、修繕が追いついていない。	今後修繕箇所は増える一方で、維持管理を行うためには、予算や適正な職員配置が必要である。
							学校施設トイレ改修	—	1,485	維新幼稚園トイレ改修済	今後、トイレの洋式化を進めていく必要がある。
							学校AED更新事業	—	941	更新完了	—
							校務用コンピュータ更新事業	3,099	1,700	ノートパソコン7台購入済 更に購入予定	預かり保育で、人が増えPC不足。 Windows7のサポートが2020年に切れる。
							小学校 普通教室エアコン設置事業	8,821	150,000	総社北小学校外6校へ設置済	H29に7校設置予定で終了
							中学校吹奏楽用楽器整備事業	2,163	3,500	【H28】バスクラリネット(総社中)、チューバ(総社西中)	毎年要望数が多く、学校の希望に添えていない
							学校ピアノ整備事業	1,988	2,600	H28は池田小、総社中に整備予定	古いピアノを使用している学校が多いが、整備ができていない

事業名	H27決算額	H28予算額	現状	課題
だれもが行きたくなる学校づくり	15,809	17,926	学びの機会と実践のサイクルができあがっている。	今後も幼小中での連携を図る上では重要
発達障がい支援事業「特別教育支援センター」	0	5,143	H29.4.1 総社北小学校内に「特別教育支援センターきらり」の立ち上げを目指し、関係各課と協議中	立ち上げにより、特別支援の人数が抑えられるようなシステムの構築
学校力向上教員加配事業	118,640	137,073	【H28】78人	状況を見ながら今後の加配を考えていく

**【重点推進施策】 家庭教育 満足度 3.3 重要度 4.3**

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)			事業名	H27決算額	H28予算額	現状	課題	
	満足度	重要度	項目	当初値	H28現況値						H32目標値
○家庭教育	3.0	4.3	高校進学を希望するワンステップ受講者の進学率	-	【平成27年度】 100% (4人)	100%	生活困窮者自立支援事業 総社市学習等支援教室「ワンステップ」 の拡充	29,663	30,370	H28.9.1現在 16名(内、中3 2人)申込み、うち12名利用。現在対象を高校生と児童扶養手当全額支給世帯まで拡大。	利用者の増加により予算増が必要。社協の負担も増大。
○学習を応援	3.1	3.9	学校運営協議会の設置数	-	0校	7校以上					

【重点推進施策】

スポーツ・文化・生涯学習

満足度

3.3

重要度

4.1

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数 (KPI)				事業名	H27決算額	H28予算額	現状	課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H28現況値	H32目標値					
○スポーツを楽しむ	3.2	3.9	体育施設の利用者数(延べ)	520,000人 (平成26年度)	56万人 (平成27年度)	600,000人	平成28年度全国高校総体 卓球競技開催経費	600	44,488	延べ約15,000人が来場, 選手に熱い声援をおくった。	—
○貴重な文化財を守り, 文化芸術を身近に	3.3	3.9	吉備路文化館の来場者数(延べ)	8,800人 (平成26年度)	10,253人 (平成27年度)	10,000人	(仮称)常盤第2分館新築整備事業	347	85,080	土地買収終了。設計業務11月補正	地元との協議を踏まえ, 実施していくことが重要
○生涯学ぶ	3.2	3.8					総社市美術博物館基本計画・文化懇談会設置	0	20,071	基金の現在高約4001万円。平成28年度に基金2000万円を積んだ。また、平成28年度学芸員1人を採用。文化懇談会の会議は、平成28年度中に立ち上げる。	文化懇談会(仮称)の早期開催。
							総社芸術祭実行委員会負担金	2,000	5,000	【総社芸術祭】 第1回目:H25.5.19~26 24事業 延べ25,000人来場 第2回目:H27.4.19~5.6 13事業 延べ20,000人来場	参加団体に固定化が見られることから, 新たな企画や参加などでさらなる活性を図ること。
							一丁塚古墳群確認調査	2,910	3,000	平成27年度に県指定史跡に指定される。茶臼嶽古墳や一丁塚古墳15号墳の確認調査を実施した。地元と協力しながら史跡としての整備活用を図っている。	地元と協力しながら県指定に向け継続的に調査し, さらなる保存活用を図ること。
							市所蔵美術展開催事業	2,000	3,000	吉備路文化館の利活用, 学芸員の育成, 収蔵品の活用, 美術博物館の機運の醸成を目的に実施。昨年度は, 満谷国四郎を, 今年度は, 高木聖雨氏と稲葉春生を企画した。	吉備路文化館の展示室の設備や空調に課題がある。収蔵品の調査を一層進めなければならない。

**【基本目標 4】 だれもが訪れたい総社** **満足度** **3.2** **重要度** **4.2**  
(5段階評価) (5段階評価)  
 [滞在人口] 当初値(H27): 平日117,000人, 休日112,600人 ⇒ H28: 未公表 ⇒ H32目標値: 120,000人, 休日116,000人

**【重点推進施策】 観光** **満足度** **3.1** **重要度** **4.2**

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)				事業名	H27決算額	H28予算額	現状	課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H28現況値	H32目標値					
○全国屈指のマラソン大会	3.6	3.7	そうじゃ吉備路マラソン参加者の大会運営評価満足度	70.5点 (2015大会実績)	79.8点 (2016大会実績)	80点	そうじゃ吉備路マラソン負担金	23,500	23,000	11月募集開始に向け、準備中。定員20,500名とし、全国屈指の大会として運営をするため準備中。	前回の参加者20,059名を超える参加者を募るため、安全な上でさらなるおもてなしが求められる。
○観光用の2次交通整備	2.9	4.0	観光客数	80万人 (平成26年度)	81万9千人 (平成27年度)	100万人	総社観光プロジェクト提案事業等の実施	5,282	14,880	総社観光プロジェクトからの24の提言を、具体化できるものから順に実施している。平成28年度は観光シーズンの二次交通対策など5つの事業に取り組む。	具体化可能なもの、時代のニーズに適したものなど、提言内容を精査しながら実施する必要がある。
○さらなる観光客・訪問客の増加	2.9	3.9					第2期鬼城山整備事業 基本構想	—	3,448	維持管理計画を主体にした第2次環境整備基本計画を策定中	第1期で整備復元した遺構の管理修繕及び未整備遺構の整備をどう計画的に進めていくかが課題
							観光用二次交通整備「観光雪舟くん」	—	—	観光用二次交通整備に向け、運行方法や手段等について検討、研究を図っている。	運行方法や手段等について、民間事業者との調整や法的問題をクリアする必要がある。

**【重点推進施策】 都市・社会基盤** **満足度** **3.0** **重要度** **4.1**

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)				事業名	H27決算額	H28予算額	現状	課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H28現況値	H32目標値					
○岡山県立大学周辺を東の玄関口に	2.8	3.7	宅地面積	1,475ha (H27.4.1)	(H29都市計画基礎調査の後)	1,505ha	刑部三須線整備事業	—	40,600	測量設計委託中。地権者と交渉中。	国交付金事業。計画的な事業実施のための事業費の確保。
			県大生の総社市居住率	45% (H27.5現在)	48%	55%	元町井手本線外1線改良事業	23,601	35,000	延長L=1,850m 施工済延長:L=130m	通学路にもなっており、地域の要望が非常に高い路線ではあるが、国の交付金の配分により年次的に施工している。
							トイレピカピカ大作戦 ローリングで毎年1箇所改修を進め、計13公園を予定。	19,093	1,000	H27年度 石原公園トイレ竣工 H28年度 市成公園トイレ設計委託中	計画的に実施していく。

【重点推進施策】

自然・環境

満足度

3.4

重要度

4.2

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数 (KPI)				事業名	H27決算額	H28予算額	現状	課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H28現況値	H32目標値					
○「赤米」を日本遺産登録へ	3.2	3.3	日本遺産登録件数	0件	(赤米 H29.1申請予定)	1件以上	総社市環境基本計画の策定	—	2,300	平成29年度策定(改訂)に向け作業中	計画の素案策定・検討に外部の協力を得るため時間と経費が一定程度必要
○豊かな自然を大切にす	3.2	3.9	環境教育・学習参加者数(延べ)	214人 (平成26年度実績)	284人 (平成27年度)	320人	北の吉備路やヒイゴ池湿地などにおける自然保護活動 県立自然公園の景観整備・保全 環境教育の推進	5,823	5,318	除草や表示板などの維持・補修作業を実施	施設・自然環境に精通した委託先団体構成員の高齢化
							市営斎場維持管理事業	34,560	1,422	修繕計画を策定し、計画に沿って進めること。	計画的な修繕が必要

**【基本目標 5】** **だれもが集いたくなる総社** **満足度** **3.1** **重要度** **4.0**  
(5段階評価) (5段階評価)  
 [総社市に愛着を感じている人の割合(アンケート)] 当初値(H27):75.2% ⇒ H28現況値:74.1% ⇒ H32目標値:85%

**【重点推進施策】** **市民参加** **満足度** **3.2** **重要度** **4.0**

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)				事業名	H27決算額	H28予算額	現状	課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H28現況値	H32目標値					
○地域課題を解決し、独自性ある地域を創る	3.1	3.7	市民提案型事業への応募件数	9件 (H26,27実績)	12件 (H28応募数)	15件	地域づくり自由枠交付金	72,639	73,889	H27年度から市内の小中学校区を基本として17地区で実施。	地域の自主的活動の促進や課題解決に役立っているが、常に地域のニーズを把握し、制度・事業の随時見直しや充実を図っていく必要がある。
○女性が活躍する	3.0	3.9	多文化共生イベントへの来場者数	1,300人 (平成26年度実績)	1,050人 (H28.10.5現在) 2,000人 (H27年度実績)	2,000人	市民提案型事業	2,000	2,000	【H27実績】5団体を採択(申込9団体)し、上限50万円の補助金を交付した。平成29年度からは予算を増額し、400万円で実施する。申込はH28年12月から。	各種団体との協働を推進するため、制度・事業の随時見直しや充実を図っていく必要がある。
○外国人と共生する	3.1	3.5	<b>小児医療費決算額</b>	2億5,232万円 (平成26年度決算)	2億4,839万円 (H27年度決算)	2億5,000万円未満	多文化共生事業	6,288	7,264	多文化共生推進員とともに外国人の生活支援や相談を実施。また、外国人集住都市会議のブロックリーダー都市になり、外国人の雇用・就労推進に取り組んでいる。	外国人の様々な生活分野での支援体制の確立が課題であり、現在、外国人の雇用・就労についての事業所向け調査を行う予定としている。
○みんなで考え取り組む	3.3	4.1	ごみ減量化推進団体資源回収量	1,509t (平成26年度)	1,419t (平成27年度)	1,800t	日本語教育事業	2,402	2,737	H27受講者数91人(中国47人、ブラジル15人、ベトナム14人・・・)。日本語学習サポーターも養成(受講生17人)している。日常生活を念頭に地域や防災なども取り入れている。	日本語教育には高い専門性を要し、外部関係者との連携が不可欠となっている。また、文化庁のモデル事業として実施しているが、補助がなくなったときの財源確保が課題である。
							ごみ減量化推進団体報奨金 8円×1,650,000kg=13,200,000円	11,366	13,200	資源回収を行った団体に対して報奨金の支払いを実施	施策の周知並びに資源回収の実施団体の増加
							EMほかし配布	1,089	1,134	希望者に対して一世帯にひと月3袋まで配布。(H27実績、:5,456世帯・16,368個)(H28年8月末時点:1,852世帯・6,892個)	EMポカシを用いた際の有用性並びに使用方法の周知

**【重点推進施策】** **広域連携** **満足度** **3.1** **重要度** **4.0**

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)				事業名	H27決算額	H28予算額	現状	課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H28現況値	H32目標値					
○広域で連携する	3.1	3.8	市役所での大学生インターンシップ受入れ人数	31人 (H27年度申込者数)	31人 (H28年度申込者数)	60人	高梁川流域観光振興協議会負担金	—	790	平成28年4月12日に設立総会を実施。情報発信の強化策として民間の活動を観光振興の原動力とする「高梁川流域観光プロモーション事業」をH28.7月開始。また、インバウンド対策事業として「おもてなしセミナー」を10月に実施した。	各関係団体と連携を密にし、情報共有を徹底する。
○大学との連携	3.2	3.7	総社市・高梁市連携事業バスツアー参加者	40人/年 (H27年度申込者数)	52人 (H27年度参加者数)	60人/年	高梁市連携事業負担金(観光振興)	485	600	【ボンネットバス事業】 第1回目:平成28年5月20日実施 12名参加 現在、11月中に第2回目の実施を計画中。	新規参加者とリピーター双方に満足いただけるよう、内容を精査する必要がある。また、高梁市のみならず新見市及び矢掛町との連携も考えなければならない。
○地元金融機関との連携	3.1	3.6					※6ページ再掲 高梁市連携事業負担金(雇用促進)	—	200	総社雇用開発協会、高梁市と連携して、雇用確保に向けた大学訪問を実施した。	各地区企業間の調整が難しく、合同就職面接会は困難な状況にある。

【重点推進施策】

市役所

満足度

3.0

重要度

4.0

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数 (KPI)				事業名	H27決算額	H28予算額	現状	課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H28現況値	H32目標値					
○行財政改革	3.0	4.0	個人番号カードの普及(累計)	—	6% (H28.9末)	70%(5年累計)	総合計画等策定事業	297	575	H28.4から実施。	将来都市像の実現のため、各重点施策の推進と評価検証を行っていくとともに、実施計画を基に予算との連携を図っていく必要がある。
○ファシリティマネジメントの実施	3.0	3.8	市債の借入額	—	普通会計ベース 98.3%	5年間平均(当初予算)で元金償還額の95%以下に抑制	ふるさと納税関連事業	306,504	532,288	H28年度からお礼の品を拡充したこと等で、昨年度を大きく上回っている。	寄附者に対する用途のフィードバックについて工夫が必要。
○職員の意識改革	2.9	4.2					公用車更新事業	2,441	2,600	H28 1台購入済み、今後1台購入予定	古い公用車から更新していく予定
							公共施設等総合管理計画策定	—	4,860	平成28年度策定予定	個別建物の計画については、総合管理計画に基づき、担当課と協議
							備品管理システム更新事業	—	1,552	年内導入予定。	—
							固定資産税の登記異動処理自動化	—	6,400	平成28年度完成予定	既存土地評価システムのオプションソフトとして導入したため、土地の登記情報の取込自動化は可能となったが、家屋については未だ自動化となっていない現状である。
							市役所事業 そうじゃ道標(続編)	—	0	—	市内業者をスポンサーとして作成しようとしているため、準備が必要
							市営住宅耐震診断事業	3,067	15,900	平成27年度 井尻野住宅:一部改修要 平成28年度 諸上2棟, 三輪1棟 耐震診断中 平成28年度で全市営住宅診断終了	診断結果に基づき計画的に改修、立替等を実施予定。
							市営住宅整備事業 外壁塗装	24,526	15,000	総社市公営住宅等長寿命化計画に基づき計画的に実施中。	定期点検を行い、計画的に修繕を行っていくことが結果として施設の長寿命化や経費の縮減につながる。
							市営住宅整備事業 市営住宅建替等	—	—	当面修繕で対応。	低所得者のための住宅供給は必要である。
							総社市保健センター修繕	8,316	5,600	ファンコイル修繕(残3年)、その後1F2F修繕予定。	ファシリティマネジメントを作成し、計画的な修繕が必要。
							住宅用太陽光発電システム設置費補助事業	2,008	4,000	自ら居住する住宅の屋根に設置する太陽光発電システムの設置費を助成。 (H27実績:51件, H28実績:104件)	太陽光発電システムの設置コストの低下と固定買取価格の変動が未知数
							一般廃棄物処分場 水処理施設等建設工事	397,139	692,886	工事中。H29.3.31完成予定	処理施設の管理委託が必要